

令和4年8月 発地別延べ宿泊者数割合

【国内】

(単位：人泊、%)

	県内	福岡県	その他九州	四国	中国	近畿	中部	関東	東北・北海道	国内計
令和4年8月 (速報値)	53,344	117,679	66,988	8,486	26,542	28,215	13,378	46,405	2,605	363,642
令和3年8月 (確報値)	49,729	78,629	28,904	3,604	14,077	18,200	6,789	28,342	1,591	229,865
前年同月比	107.3	149.7	231.8	235.5	188.5	155.0	197.1	163.7	163.7	158.2
令和2年8月 (確報値)	35,319	81,105	27,558	3,412	10,136	14,602	5,066	16,696	1,113	195,007
令和2年同月比	151.0	145.1	243.1	248.7	261.9	193.2	264.1	277.9	234.1	186.5
令和元年8月 (確報値)	48,895	116,407	90,222	16,432	40,519	34,558	15,809	52,179	3,840	418,861
令和元年同月比	109.1	101.1	74.2	51.6	65.5	81.6	84.6	88.9	67.8	86.8
令和4年7月 (速報値)	46,602	90,521	49,388	6,557	19,390	20,744	10,360	37,239	3,014	283,815
前月比	114.5	130.0	135.6	129.4	136.9	136.0	129.1	124.6	86.4	128.1

【国外】

	韓国	中国	香港	台湾	タイ	その他アジア	欧米豪その他	外国小計
令和4年8月 (速報値)	2,031	21	78	100	242	357	686	3,515
令和3年8月 (確報値)	13	155	0	1	0	647	46	862
前年同月比	15623.1	13.5	-	-	-	55.2	1491.3	407.8
令和2年8月 (確報値)	13	23	0	9	0	254	225	524
令和2年同月比	15623.1	91.3	-	1111.1	-	140.6	304.9	670.8
令和元年8月 (確報値)	7,759	6,402	8,530	11,730	523	1,496	1,963	38,403
令和元年同月比	26.2	0.3	0.9	0.9	46.3	23.9	34.9	9.2
令和4年7月 (速報値)	574	52	3	72	114	287	397	1,499
前月比	353.8	40.4	2600.0	138.9	212.3	124.4	172.8	234.5

* 発地別宿泊者数は、サンプル数が過小のため表示しない

【全体】

	合計
令和4年8月 (速報値)	367,157
令和3年8月 (確報値)	230,727
前年同月比	159.1
令和2年8月 (確報値)	195,531
令和2年同月比	187.8
令和元年8月 (確報値)	457,264
令和元年同月比	80.3
令和4年7月 (速報値)	285,314
前月比	128.7

- ①調査対象施設は従業員数10人以上の全施設（187施設 令和4年1月時点）
- ②令和元年、令和2年の数値については、上記①の施設数をもとに推計しています。
- ③発地別延べ宿泊者数は、速報の公表時に大きく変更されることがあります。

出典：大分県観光統計調査

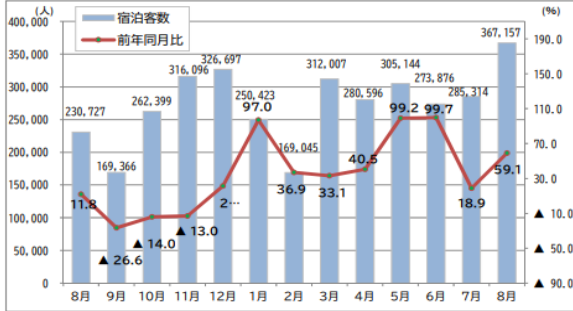
<傾向・分析>

- ・国内の延べ宿泊者数は、前月比128.1%、前年同月比158.2%、コロナ禍前の令和元年同月比は86.8%。感染者数が増加していたことなどからコロナ禍前の水準には戻らなかったものの、3年ぶりに全国的に行動制限のない夏休みシーズンであったことなどから九州外の地域からの宿泊者数は前年、前々年に比べ大きく伸びている。
- ・国外の延べ宿泊者数は、前年同月比407.8%、令和2年同月比670.8%、前月比234.5%。6月10日から観光目的での入国が条件付きで許可され、徐々にインバウンドの回復が期待されるものの、その影響は未だ限定的でコロナ禍前の令和元年同月比は9.2%と依然として厳しい状況が続いている。
- ・全体の延べ宿泊者数は、前月比128.7%、前年同月比159.1%、令和2年同月比は187.8%。コロナ禍前の令和元年同月比は80.3%となっている。

令和4年8月の宿泊客等の動向 (令和3年8月～12月確報、令和4年1月～8月速報)

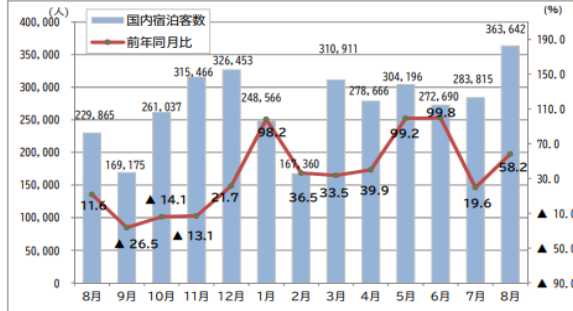
(1) 宿泊客の動向

令和4年8月の宿泊客数の前年同月比は、速報で+59.1%となる見込み。



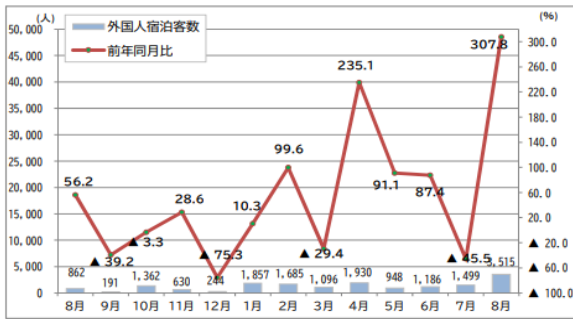
(1) - ① 日本人宿泊客の動向

令和4年8月の日本人宿泊客数の前年同月比は、速報で+58.2%となる見込み。



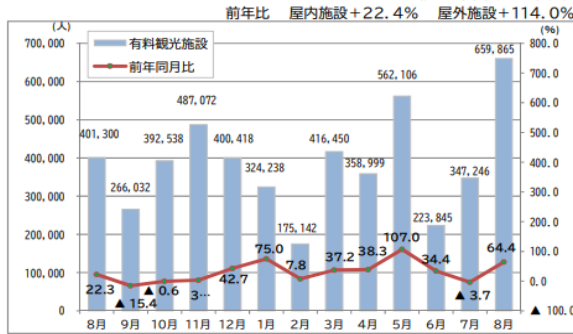
(1) - ② 外国人宿泊客の動向

令和4年8月の外国人宿泊客数の前年同月比は、速報で+307.8%となる見込み。



(2) 有料観光施設(入場客)の動向

令和4年8月の有料観光施設(入場客)の前年同月比は、速報で+64.4%となる見込み。
(調査対象施設29施設)



※観光施設の対前年比は、休業業・未提出施設を除いて算出しているため、過去に公表している値と比較すると一致しない場合があります。

出典：大分県観光統計調査

<傾向・分析>

- 日本人宿泊客は、新型コロナウイルス第5波の影響で感染者数が増加していた影響で昨年8月、9月の宿泊者数は減少傾向となった。9月末に全国的に行動制限が解除となり、「新しいおおい旅割」も再開したことなどから10月・11月の宿泊者数は増加。12月6日からは「新しいおおい旅割」の対象に近隣県も加わったことなどから更に増加したが、オミクロン株の感染拡大の影響により県内でもまん延防止等重点措置が適用となった1月・2月は2か月連続で減少となった。3月に入り全国各地でまん延防止等重点措置が解除されたことなどから、第6波の前と同水準まで持ち直し、4月・5月・6月は行動制限がなかったことなどから高水準が続いた。7月・8月も感染者数こそ急増したものの、3年ぶりに全国的に行動制限のない夏休みシーズンであったことなどから宿泊者数は増加傾向が続いている。
- 8月の有料観光施設の動向については前年同月比164.4%と、悪天候の続いた昨年比に比べ増加し、夏休みシーズンでもあったことなどからここ一年では最も高い水準となった。
- 外国人宿泊客は、6月10日より観光目的の入国が条件付きで解除され、徐々に戻りが見られるものの、その影響は限定的で、依然としてコロナ禍前の水準には戻っていない。
- 全体においては、未だインバウンドの回復が見られない中、国内宿泊者の動きがそのまま反映されたが、国内宿泊者の動きは、今年3月以降は行動制限がなかったことや旅割等の影響により高水準が続いているが、感染者数の急増等により未だコロナ禍前の水準には戻っていない。